

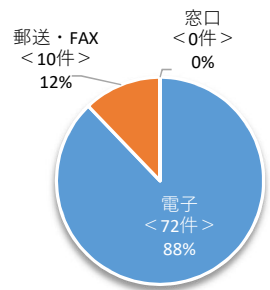
# ■ 静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針【改定版】(案)

# パブリックコメント結果概要及び対応について

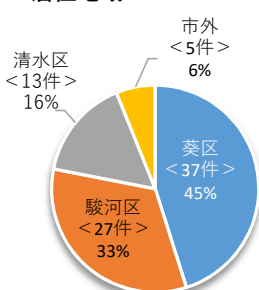


- 意見募集期間 令和4年12月28日(水)～令和5年1月27日(金)
- 意見募集状況 意見提出者：82人、意見数：414件
- 応募者の属性(人数)

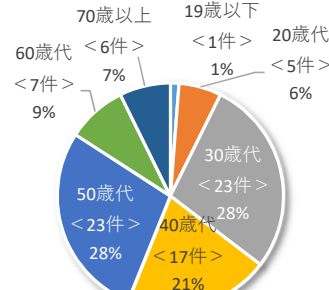
## ■ 提出方法



## ■ 居住地域



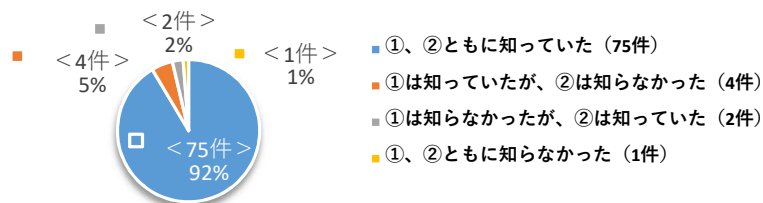
## ■ 年齢



## 4. 意見の内訳

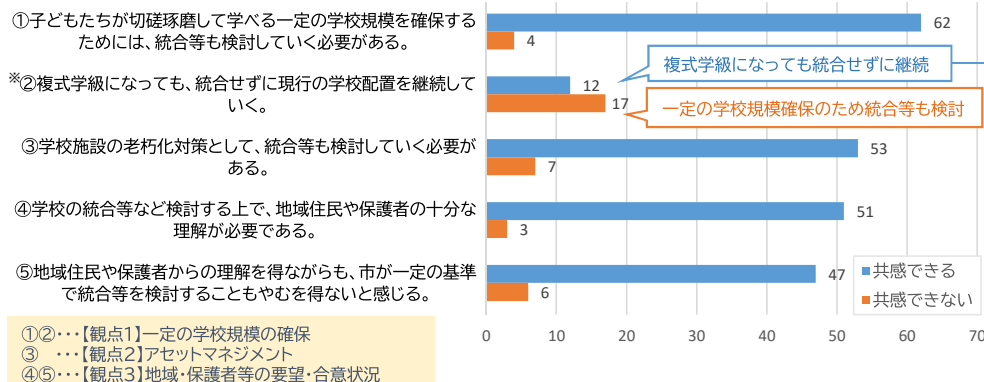
### (1) 本市の少子化、学校施設の老朽化の認識について (82件) ※1人1回答

【設問1】本市の現状「①少子化が進んでいること」「②学校施設の老朽化が進んでいること」について知っていたか



### (2) 子どもたちの望ましい教育環境の観点に対する意見 (260件) ※複数回答

【設問2、3】子どもたちの望ましい教育環境の観点(項目)に共感できるかどうか



- ①②・・・【観点1】一定の学校規模の確保
- ③・・・【観点2】アセットマネジメント
- ④⑤・・・【観点3】地域・保護者等の要望・合意状況

※“②複式学級になっても統合せずに現行の学校配置を継続していく”

共感できる...12件

共感できない...17件 ⇒ 「一定の学校規模の確保のため統合等も検討」に共感

【主な理由】・複式学級では同学年の子どもたち同士が学び合い、切磋琢磨できない状況にあり、社会性や多様性を学ぶには限界があると思う。  
・学習面において教育の質の担保が困難であり、指導する教師の負担も大きいと感じる。 など

### (3) 本改定方針案や適正規模・適正配置の考え方に対する意見 (72件)

内容分類	主な意見	対応
子どもファースト	・アセットマネジメント的な考え方を先行して学校の統廃合を進めるべきではなく、子ども達の教育環境の充実、 <b>大規模校に馴染めない子ども達のケア</b> 、大規模校化した学校への子ども達の登下校による交通インフラの損害、影響も考慮するべき。	<b>反映する</b> →●開校に当たり検討すべき項目例(p.19)に追記
地域のコミュニティとしての核	・学校の機能として、 <b>避難場所としての役割を持つ側面</b> もある。近年の台風による被害を考えると、現在の学校の場所は地区の中で、安全性に欠けているものもある。(河川の近くにある・土砂災害のリスク) <b>統合の際には、防災の観点を大事にしてください。</b>	<b>反映する</b> →5(3)①取組方針(p.18)及び●開校に当たり検討すべき項目例(p.19)に追記
子どもファースト	・統合により整備される一貫校は、最小規模にとどめず、現状や将来を見据えた施設にしてほしい。 ・個の多様化の尊重に対応したり、特別支援教育の推進や <b>防災拠点としてはもちろんのこと、コミュニティスクールや社会教育の視点、ICT環境の整備など</b> 「とりあえず最小限でまとめた」のではなく、「1+1で3以上になった」ような、誇れる <b>静岡市型の魅力ある教育環境の整備</b> に期待する。	<b>反映する</b> →●開校に当たり検討すべき項目例(p.19)に追記
小規模校の存続	・子ども達も育った学校を懐かしく思い出す時が来るときに、学校を残すのが行政の仕事である。 ・小人数だからこそ一人一人が活躍する機会が増えるため、 <b>適正規模に当てはまらないとして小さな学校を統廃合する事には反対。</b>	<b>反映しない</b> ⇒貴重なご意見に感謝するとともに、本方針の考え方にご理解いただけるよう進めていく。
子どもファースト	・子ども達の安心安全で最適な学びとは何か、私達保護者も一緒に考えていけることは大変有難い。 ・人員確保や予算も考えていかなければならず、今後更に減少が見込まれる中、 <b>これからの親が「学ばせたい静岡市の教育環境」となる様、皆で考えていきたい。</b>	<b>反映済み</b>
子どもファースト	・市の適正配置基準が出ているが、 <b>どこが統合するのか、市が情報を知らせてほしい。</b> ・ <b>街中でも少子化が起きているので、統合を進めるべき。</b>	<b>反映済み</b>
地域のコミュニティとしての核	・小規模であっても学校が地域のコミュニティの核となっている現状と、ある程度の人数で切磋琢磨し人間形成を図る必要性の両立は困難であるが、 <b>地域住民の声を真摯に受け止め、通学区域や時間をクリアし、統合により地域が広がってもコミュニティの性格が失われていない学校のイメージを大切に、モデルケースが生まれることを期待している。</b>	<b>反映済み</b>
子どもファースト	・少子化のスピードを考えると、 <b>地域での合意形成を待っているのは多くの子どもが不利益を被る。子どもの育成を第一に考え、市が主導的に統廃合を進めるべき。</b>	<b>反映済み</b>
老朽化対策	・校舎の老朽化も深刻な問題であるため、 <b>適正規模校であっても老朽化が著しい校舎については、改修や建て替え等の検討をこれまで以上に早急に進めていただくことを期待する。</b>	<b>今後の参考とする</b>
学区の再編	・小中一貫をすすめていくうえで、なるべく同じ小学校のまま中学校に進学できるように、 <b>学区の編成や自由な選択もできるようにしてもらいたい。</b>	<b>今後の参考とする</b>
子どもファースト	・中山間地では、こども園の状況から見ても今後の児童数の増加は考えにくい。 ・ある程度人数が減れば、保護者はよりよい環境で教育を受けさせたいと考え、私学等へ入学する例が増えてきている。 <b>保護者だけでなく、地域にも現状をわかってもらうとともに、小中学校だけでなく、こども園も視野に入れ適正規模・適正配置を考えていく必要があると思う。</b>	<b>今後の参考とする</b>
1学級あたりの人数	・P.15にあるような「質の高い教育環境」を整備するには、担任1人で最大数の35人を見るのは限界があるのではないかと。 ・子どもの「個」を伸ばすためには、しっかりその子自身を見て、理解し、教員との信頼関係を築いていくことだと思うので、 <b>1学級あたりの人数については見直しをしてほしい。</b>	<b>今後の参考とする</b>